

2019
1月号

＊原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 TEL(06)6765-2552 FAX(06)6765-2837



核兵器禁止条約の発効にむけ、政治決戦の年に
ふさわしい活動を取り組もう！
自公維新の悪政打破！

あけましておめでと
うございます。

昨年は安倍自公政権と
維新の党の協力のも
とで、労働法

制・入管法等、
多くの悪法が強
行採決をされま
した。国民の声

を踏みにじり、
議会制民主主義
を踏みこむ暴

挙と言えます。
知事選に示された沖
縄県民の民意を無

視し辺野古の土砂搬
入の強行、憲法違反
の軍事費増大・自衛
隊の軍備強化や海外
派遣、対米追従・戦
前の軍事国家の復活
を狙うものと言わ
ざるを得ません。原
再稼働の促進も国際
世界の流れに逆行す
るものであり、いま
だ、復興の道すらた
たない、「福島原発」
の教訓と反省がま
たかないといえます。

唯一の被爆国とし
て、「核兵器禁止条
約」へ賛同しない政
治姿勢にも国際的に
厳しい批判がありま
す。

今年、一斉地方
選挙・参議院選挙の
年であり、悪政の流



れを変える政治戦の年です。
平和を守り、憲法を守りい
かすたかいが正念場となり
ます。政治の流れを変え、被
爆国日本の責務を果たす政治
としなければなりません。

大阪府知事・
大阪市長選挙の年でもありま
す。カジノ・住民投票を許さ
ない運動とともに、維新政治
との決着をつける年となりま
す。

原水協独自の取り組みを
各々の団体・地域から大きく
前進させるとともに、市民と
の共同の取り組みを大きく前
進させ改革の年となるように
奮闘する決意を新たに、新
年のご挨拶といたします。

（2019年新春
新理事長川辺和弘
前大阪府連議長・現顧問）

核兵器禁止条約は核兵器の
保有、使用禁止はもちろん、
「威嚇」までを禁止していま
す。発効までには50カ国の
批准が必要ですが、すでに批
准国は19カ国。昨年の国連
総会で「できるだけ早く署
名・批准」を呼びかける決議
が126カ国の賛成であり、
核保有国の圧力を跳ね返して
います。それに対し唯一の被
爆国である日本政府は「反対」
の姿勢を示し、各国から批判
の声が上がるのも当然です。

「核兵器は絶対悪」の烙印
が押されるのは明らかで、こ
れは長きにわたる原水協運動
の成果であると確信していま
す。引き続き「核兵器廃絶国
際署名」のご協力をお願いす
るものです。

土砂投入強行に対し怒りをもって抗議する
辺野古米軍新基地建設のための土砂投入強行の暴挙に対し満身の怒りをこめて抗議するとともに、基地建設中止を強く要請する。無茶な土砂投入は、沖縄県だけの問題ではなく、日本の民主主義と法治国家を守る問題であり断じて容認できない。安倍首相が「沖縄の皆さんの心に寄り添う」というのであれば、辺野古米軍基地新建設反対を公約に掲げた玉城デニー知事と話し合うべきである。アメリカ政府は沖縄駐留海兵隊のグアム移転に取り組むなど戦略の見直しを進めている今こそ、核兵器を含めた軍事の「抑止力」の考え方を改め、日本政府は、アメリカ政府と基地削減の交渉を行わなければならない。

日本政府に対し核兵器禁止条約の署名・批准を求める私たちは定期総会の総意を持って、辺野古への土砂投入を直ちに中止すること。沖縄県知事と辺野古米軍新基地中止を前提とした話し合いを強く求める。私たちは、米軍新基地建設反対でたたかう沖縄県民に連帯し、運動をすすめることを表明するものである。

弱冠62歳ですので、国民
平和行進の基幹コース200
キロを歩くことを決意し、挨拶
とさせていただきます。



第56回定期総会で就任し
ました新事務局長の続昌司氏
の就任にあたっての
決意のメッセージを
紹介します。

新事務局長
あいさつ



▲就任あいさつする続昌司事務局長

プロフィール
北海道、札幌生まれ
1980年 大阪福祉事業財団入職
1999年 全国福祉保育労働組合
大阪地本書記長
2008年 全大阪労働組合総連合
副議長
2016年 同 副議長退任

土砂投入強行に対し怒りをもって抗議する
辺野古米軍新基地建設のための土砂投入強行の暴挙に対し満身の怒りをこめて抗議するとともに、基地建設中止を強く要請する。無茶な土砂投入は、沖縄県だけの問題ではなく、日本の民主主義と法治国家を守る問題であり断じて容認できない。安倍首相が「沖縄の皆さんの心に寄り添う」というのであれば、辺野古米軍基地新建設反対を公約に掲げた玉城デニー知事と話し合うべきである。アメリカ政府は沖縄駐留海兵隊のグアム移転に取り組むなど戦略の見直しを進めている今こそ、核兵器を含めた軍事の「抑止力」の考え方を改め、日本政府は、アメリカ政府と基地削減の交渉を行わなければならない。

財政上のトラブルで延期に
なっていました大阪原水協第
56回定期総会が、12月1
5日、大阪市内で開催されま
した。冒頭、理事長あいさつ
で岩田幸雄理事長は、加盟組
織にお詫びと感謝を伝え、そ
のような困難なかでも運動
の発展に尽力していただいた
ことに御礼を述べました。引
き続き、組織上の改善を総括
した組織・財政委員会から規
約改正の提案をうけ、参加者
全員の承認をえました。

その後、一年半の経過報告
と2019年度の方針を提案
をしました。

それをうけて各加盟組織か
ら積極的な発言が相次ぎまし
た。ここに簡略に紹介します。

〈大阪平和委・鈴木氏〉

沖縄での闘いに積極的に参
加。全国の仲間が明日の自分
の地元の闘いと位置付けて結
集して闘いに参加してきたこ
との意義を強調。大阪での維
新との闘いに奮闘する。



〈新婦人・中川氏〉

「二つの署名」を取り組む
中で会員が変化。ヒバクシャ
国際署名は2020年までに
目標25万、現在は12万8
千3百5筆に到達。私たちの申
し出活動で自治体の意見書が
採択されています。「美と平和
の運動」を通して新しい会員
が元気になっています。

学習と発信を重視して府下に
新婦人のイメージチラシ25
0万枚配布してがんばってい
ます。



〈西淀川・矢野氏〉

西淀病院正門から500個
の風船をとばした一つが静
岡・浜松の届き、その返信が
届いて感動。毎年、世界大会
には青年を中心に40名近く
派遣。昨年の世界大会では同
じ宿舎で韓国の青年との交流
がもたれ、有意義な世界大会
参加となった。参加した青年
が日常普段の平和活動にどう
参加してもらうかが課題です。



〈大教組・三宅氏〉

教員の多忙化によって日常
の活動が困難に。夏休みを利
用して世界大会へは積極的に
取り組んでいる。募金活動を
中心に40〜50名を目標に
取り組んでいます。参加した
青年の多くが、各単組の役員
になっていきます。「教え子を
再び戦場に送らない」の不滅
のローガンが今、強く求め
られています。維新型政治を
打ち破り、平和教育の実践を
強めていきます。

〈日本共産党・正垣氏〉



大阪原水協の果たす役割は
近畿だけではなく中国地方で
も耳にします。現在の安倍政
権の暴挙はその強さの表れで
はなく、国民に説明できない
状況に追い込まれた結果のあ
らわれです。その安倍政権に
協力する維新は、「万博とカ
ジノは別」と言っていた以前
の姿勢が、万博が決定した途
端、「万博とカジノ」は一体の
もの論が浮上。沖縄での闘い
の教訓「あきらめないこと」
の大切さが今、大阪でも求め
られています。国際的な動き
である核兵器禁止条約の確実
な前進に確信をもって、「市
民と野党の本気の共闘をもと
め」て奮闘する決意です。

〈大商連・福井氏〉



今、政治家の姿勢にもとめ
るのは「歴史認識の大切さ」
です。広島・長崎・ビキニと
三度被爆した日本で、原爆
が必要などと発言する橋下徹
元府知事。読売の世論調査に
よると、松井・吉村支持が5
0%を越えています。万博賛
成60%ですがカジノ反対も
60%です。維新政治をなん
としても打破しましょう。



〈被爆者・山川氏〉

対決ばかりしている米ロが、
核兵器禁止条約に共同して絶
対反対するとういう状況。被爆
者の高齢化は深刻、被爆者組
織が消滅しています。可能で
あれば、被爆者支援の一つと
してまだ知られていない被爆
者に支援の手を差し伸べる手
立てをとってほしい。202
0年は、被爆75年目の節目
です。オリンピックに目を奪
われない闘いをお願いしたい。
被爆者も命ある限り頑張っ
ていきます。

〈うたごえ・立川氏〉

12・1のつどいなど原水
協の活動と「うたごえ」とが
一緒になって行動できたこと
をうれしく思っています。「う
たの力」を評価していただい
ています。いろんな取り組み
の際、「うたごえ」に声をかけ
てください。



「うたごえは平和とともに」

総会は、大商連の増田孝博
副会長の議長のもと、201
9年度の活動方針、予算案、
会計監査と新役員の提案があ
り、全会一致で承認されまし
た。総会アピールと沖縄土砂
埋めたての暴挙の抗議文（1
面記事）も承認されました。
理事長には川辺和宏氏
（新・
大阪労連顧問）、副理事長には
山川美英氏（寝屋川市原爆被
害者の会会長）、穂久英明氏
（医師）、高木孝裕氏（大阪宗
平協代表委員）の三名、事務
局長に続昌司氏（新・元大阪
労連副議長）、事務局次長に三
宅良夫氏（新・大教組副委員
長）です。顧問には引き続き
篠浦一朗氏、新たに岩田幸雄
氏の二人、会計監査は福井朗
氏（大商連）、中島昌明氏（大
阪労連）の二人です。
引退する役員を代表して岩
田幸雄氏が、御礼、お詫び、
お願いの三つの「オ」として
最後のあいさつをしました。



▲退任のあいさつをされる岩田幸雄氏

ヒバクシャ国際署名
(12月20日現在)
51万5880筆

メッセージが寄せられました。

告知版

☆2019年関西原水協学校

日時：1月26日～27日
場所：かんぼの宿富田林

なお、日本共産党から祝電

